

## 京都文化カプロジェクト 2016ー2020 平成 30 年度事業計画（案）

平成 28 年 10 月に策定の「京都文化カプロジェクト 2016ー2020 実施計画（総論）」では、「創造する文化 京都から世界へ」をコンセプトに、毎年度リーディング事業を設定しており、平成 30（2018）年度は、美術・工芸（アーツ&クラフツ）を中心に展開する。

事業の推進にあたっては、多様な主体によって実施される文化芸術イベントや、文化庁の京都への全面的移転を踏まえて、文化庁地域文化創生本部との連携を図っていく。

また、平成 32（2020）年度のあらゆる分野を融合した総合的な祭典の実施に向けて、「フュージョン（融合）しながらクリエイション（創造）」することにより国内外との「文化の交流」をめざす取組、世界と京都（日本）との関係性など新たな価値を再認識して発信する取組の検討を進めていく。

### 【リーディング事業】

#### 美術・工芸（アーツ&クラフツ）

##### ■ 公募展

内 容：屋外に設置可能なインスタレーションあるいは立体作品にテーマを絞った全国公募展を開催する。全国のアーティスト、建築家等から作品のプランを募集し、著名な審査員による審査を経て選出したプランを実現化する。京都ならではの創造的な芸術作品を、多くの府民市民に鑑賞いただけるよう屋外会場に展示し、2020 年に向けた気運醸成を図る。

時 期：平成 30 年 4～ 8 月 公募・審査  
 9～12 月 プラン確定・制作・広報  
 平成 31 年 1 月～ 展示

場 所：京都市内

#### ※インスタレーションとは

絵画・彫刻・映像・写真などと並ぶ現代美術における表現手法・ジャンルの一つ。ある特定の室内や屋外などにオブジェや装置を置いて、作者の意向に沿って空間を構成、変化させ、場所や空間全体を作品として体験させる芸術。

## ■ シンポジウム

内 容：美術作品や工芸品のある空間をデザインした著名なアーティスト等を招聘し、美術・工芸と建築との関係を考える公募展と連動させたシンポジウムを開催する。

時 期：平成 31 年冬

場 所：京都市内

## ■ ワークショップ

内 容：府民市民参加型のワークショップにより、アーティストと一般の府民市民が協働して大型の芸術作品を制作する。

時 期：平成 30 年秋

場 所：京都市内

## ■ 関連作品の展示

内 容：上記の公募展の入賞作品や、シンポジウム登壇者の関連作品、また府民市民参加によるワークショップで制作した作品の展示を、障害者アートや芸術系大学等との連携も視野に実施する。

時 期：平成 30 年秋

場 所：京都市内

## 【その他の事業】

### ■ 次年度以降のリーディング事業の検討

内 容：平成 31 年度のリーディング事業（くらしの文化）と、平成 32 年度の総合的な祭典に向けた具体的な検討を行う。

### ■ 2020 年に向け継続した気運醸成事業

内 容：平成 31、32 年度のリーディング事業に向けたプレ事業としてワークショップ等を開催。また、府内文化芸術団体等による継続的な活動及び 2020 年に向けた取組を支援し、府民市民が主体となった文化活動の気運を創出する。

時 期：平成 30 年春～

## ■ 京都の工芸家による伝統と創生の美展

内 容：京都の最高の工芸家が卓越した技術で織りなす美術工芸作品を展示するとともに、ワークショップやギャラリートークを行う。

時 期：平成 30 年秋

場 所：京都市内

## ■ アーツ&クラフツ in 中丹

内 容：ほんまもんの京都文化の鑑賞機会を提供することにより府域の文化・芸術振興につなげるため、現在活躍中のいけばな、写真、工芸、書、彫刻、日本画など各分野の京都の作家による最高水準の作品展等を開催する。

時 期：平成 30 年秋

場 所：中丹地域

## ■ 海外情報発信イベント

内 容：世界中の方々に京都の文化に触れていただく取組として、訪洛外国人に向けた京都文化の魅力を発信するイベントを開催する。

時 期：平成 30 年秋

場 所：京都市内

## 【ベース事業】

### ■ 第3回推進フォーラム

内 容：2020 年に向けて、本プロジェクトの取組や事業を幅広く周知・浸透させるとともに、京都から文化・芸術を国内外に発信するフォーラムを開催する。

時 期：平成 31 年 2～3 月頃

場 所：京都市内

### ■ 機関誌第 3 号

内 容：長年京都の文化を支えてきた文化人のインタビューを中心に、2020 年に向けた提言や取組状況のアーカイブ、京都の文化情報などを掲載する機関誌を発行する。

仕 様：A4 判 24 ページ、5,500 部

発 行：平成 31 年 2～3 月頃

## ■ ポータルサイト運営

内 容：専用 WEB サイトで、本プロジェクトの取組状況、事業実施報告、beyond2020 プログラム認証事業などを多言語（日英中（簡・繁）韓、自動翻訳）で情報発信する。

## ■ 認証事業

内 容：国の beyond2020 プログラムについて、各団体等が行う事業を認証し、独自のロゴマークを配布するとともに、WEB サイトで多言語による情報発信を行う。  
また、東京 2020 文化オリンピック（公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会）についても、各団体等に認証申請の助言を行う。

## ■ 会員募集

内 容：本プロジェクトの趣旨に賛同する団体・企業・個人を会員として募集し、beyond2020 プログラム認証事業等の文化情報を提供する。

## ■ 会議等

理事会	平成 31 年 3 月頃
企画運営委員会	平成 31 年 2～3 月頃

## 平成 30 年度に開催される京都の「美術・工芸」関連の主な事業

(※京都府、京都市、京都商工会議所関係事業の一部を抜粋)

### 共催・連携事業

京都では、すでに行政、経済界、文化芸術団体、大学等が中心となって、京都特有のコンテンツを活用して、多くの事業が実施されている。東京 2020 オリンピック・パラリンピック等に向けて、京都で恒例開催されている文化芸術イベントの特別版や周年記念等の事業について、企画・広報などの面で実行委員会が共催・連携事業として支援協力する。(実施計画(総論)より)

今年度のリーディング事業である「美術・工芸」に着目し連携する。

### ■ 「京都の御大礼—宮廷文化のみやび—」 展覧会 (仮称)

皇室と共に歩んできた京都の歴史・宮廷文化について改めて市民と共に理解を深めるため、京都で開催された大正天皇・昭和天皇の御大礼に関する展覧会を平成 30 年 9 月に開催する。

### ■ 京都・パリ友情盟約締結 60 周年記念事業

パリ市との友情盟約締結 60 周年を記念して、パリ市において日本文化の魅力発信を行うほか、京都市内において、パリの文化の紹介や日仏現代アートの祭典「ニュー・ブランシュ KYOTO 2018」を開催する。

### ■ 京都・パリ両商工会議所の友好協定締結 30 周年記念事業

#### 「京都知恵ビジネスメッセ in PARIS」

京都とパリ両商工会議所の友好協定締結 30 周年記念事業として、京都の伝統に培われた知恵と技術を活かした商品・素材を一堂に集め、パリのバイヤーや市民などに広くその魅力を伝える「京都知恵ビジネスメッセ in PARIS」を開催する。

### ■ 「障害者芸術」の活性化を契機とした新たな文化芸術の魅力発信

障害のある方による芸術活動の活性化を図り、社会参加を促進していくため、NPO 法人とも連携して、様々な分野の芸術作品と京都市内の障害者芸術作品の作品展を開催する。

## ■ 伝統産業の日事業

1200年の悠久の歴史の中で培われた京都の「匠の技」の魅力を国内外に発信するため、京都市では春分の日を「伝統産業の日」と定めた。この日を中心に、岡崎・東山、室町、西陣など市内各所で多彩なイベントを実施するとともに、年間を通じて業界団体が実施する伝統産業事業を「伝統産業の日」関連事業と位置付け、「京都観光 Navi」やポータルサイト「京都の伝統産業」で発信している。

## ■ 「きものの似合うまち・京都」推進事業（京都きものパスポートの発行）

京都の街をきもの姿で彩る事業の実施を通じて、「きものの似合うまち・京都」のイメージの定着を図るとともに、和装業界、観光業界等と連携してきもの着用品機会を増やし、和装振興を推進する。

## ■ 芸術村づくり事業

文化による地域活性化を推進するため、若手芸術家の移住等を通じた地域での作品発表・交流の場を創出するとともに、公共施設等の一角をアートやパフォーマンスに親しめるギャラリー等として活用する。

## ■ 京都 Re-Search 芸術祭創生事業

地域アートマネージャー等を配置し、リサーチを主とした短期アーティスト・イン・レジデンス（AIR）と、その成果を踏まえた制作発表を伴う中期 AIR を府内各地で展開することにより、地域文化資源発信型の AIR の開催に向けた取組を推進する。

## ■ 木津川アート 2018

約 1300 年前に聖武天皇が平城京から遷都したという恭仁京（木津川市）。北に茶畑を有する山々と南に木津川を配したのどかな田園集落で、景観を活かした空間・旧跡・古民家・神社・拝殿・倉庫などを会場に作品を展示する。

## ■ 南丹工芸文化祭

南丹地域に受け継がれるものづくり文化の振興を図るため、京都美術工芸大学との連携事業による成果物の展示やものづくりへの関心を高める連携事業の活動紹介、工芸等の作品展示とものづくりワークショップなどを開催する。